

ふるさとの鼓動
北に生きる心
むすんで

こぶし

第115号

2004年5月15日発行

発行責任者：横井正人 編集：機関紙委員会
特定非営利活動法人 民族歌舞団こぶし座 北海道函館市陣川町 122-172
TEL/FAX: 0 1 3 8 - 5 4 - 2 8 5 9 年4回発行
E-mail:kobusiza@m19.alpha-net.ne.jp http://www.aa.alpha-net.ne.jp/kobusiza

主な内容

- (1) NPOこぶし座第5回 通常社員総会開かれる
- (2) 憲法市民集会に 400人 参加
- (3) こぶし座後援会総会開かれる



(こぶし座会館でおこなわれた第5回通常社員総会)

春の陽光輝く季節となりましたが、皆さまにはお元氣でお過ごしのことと存じます。
こぶし座会館の近くの山林には山桜とコブシの花が満開で、そのピンクと白と若緑が織りなす色調は見事としか言い様はありません。
さて、機関紙一五号をお届けします。
今回はこのほど行われた社員総会を中心にお伝えいたします。

國田理事長退任 新理事長に横井正人を選出

第5回通常社員総会開かれる

NPOこぶし座二〇〇四年度 十九名の参加で開かれました。通常社員総会が四月二十九 開会に先立ち、理事会より日、こぶし座会館において社員 社員総数についての報告があ

り、國田寿子さん、高奥聡さんの二名が脱退、また新たに西東一葉さん、志賀松智恵美さんの二名が加入、これによって社員総数は二十名であることが確認されました。

はじめに國田理事長が「創立四十周年、そして世代交代という節目に向かい新たな団結を生み出した一年だった。私たちを取りまく状況はますます厳しくなっているが社員の総力で実りある活動となるよう、総会を成功させていきましょう。」とあいさつしました。

第一号議案「二〇〇三年度事業活動報告」では三名の発言がありました。

「伝統芸能の継承、作品創造」について創演部・計良正子が、秩父夜祭りの取材を通して祭りが人を育て絆を深め自治をつくっている、そこに伝統の本質があることを体感できたこと。横浜の小学校公演で出会った先生や子どもたちから得た感動、創造方向の確かさを実感できたこと等を報告しました。また「公演部活動について」公演部・松岡智恵美が、公演部員の中途退座という困難に直面しながら「公演に責任を持つ」という意思統一のもと、部員一人一人が主体的に必死で向かい責任を果たし得たこと、新たな

強い団結と自分たちの仕事への確信と愛情を深めることができた事などを発言しました。公演部・田畑悟志は「一年をふりかえり」同世代の間を失った心の痛みが大きかったが、仲間のがんばりに励まされ無我夢中でやりきったというのが実感。この一年でつかみ取ったものをこれから活動に生かしていきたい、と語りました。

第二号議案「二〇〇三年度収支決算報告」は監査報告と合わせて承認されました。

第三号議案「二〇〇四年度事業活動計画」では三名の発言がありました。

「伝統芸能の継承、作品創造」について創演部・横井正人が、激動する社会としっかり向き合い、北海道の歴史と生活に根ざした作品創造をめざすため、道南の芸能の研究・習得に努めるなど、今年の計画を発言しました。また制作活動について「制作部・中尾雄児が、真つ先に今年度の学校公演目標達成の報告をする」と会場は大きな歓声と拍手につつまれました。公演を創ることがますます厳しくなっている現状、そしてこぶし座

らしい制作活動を展開させるためにも専任・兼任者による制作部の確立を目指すという発言がありました。公演部・村田さつきは「今年の公演活動に向かつて」昨年の活動の中でやりきれなかったくやしさを残した経験から、二度と同じ思いをしないよう稽古をやってやってやりぬく年にします！と明るく元気に決意を語り、みんなの笑顔と拍手の中で議案が承認されました。

第四号議案「二〇〇四年度収支予算案」は提案通り承認されました。

第五号議案「役員を選任」では、理事長から理事四名・監事一名の提案があり承認され、直ちに開かれた新理事会で、横井正人が理事長に互選された旨の報告があつて、全議事が終了しました。

なお新役員は次のとおりです。

理事長 横井正人(新)
理事 中尾雄児(再)
計良 徹(再)
計良 正子(新)
監事 金城公雄(再)

一月～三月の公演依頼活動の中から

『新しい出会いを求めて』

十勝・一般公演依頼活動

田畑悟志

私にとって初めてとなった一

般公演での依頼活動は、どんな出会いがあるのか楽しみではあった反面、何をどう伝えれば思いが届くのか、はたして公演に繋がる運動を起せるのか、不安も抱えての活動でありました。

「とにかく飛び込んでいくしかない！」と、出会いのなかから一つひとつ学び取ろう、「自分だからできる発想」を行動に移すことで自信を掴もつと挑んだ依頼活動は、何を伝えたいのが整理していくことで「自分がこぶし座でどう生きていきたいのか」を確信していくという作業のようでもありました。

ただ、たどたどしい語り口だったり、伝えきれなかった悔しさが残ることも多く、相手にしっかりと届いているか今ひとつ掴みきれないもどかしさもありました。それでも運動を広めようと一緒に行動してくれる人がいたり、公演には繋がらなくても

頑張ると言葉を掛けてくれる人がいたり、お互いの活動を語り合えた青年に出会えたりと、自分の思いが伝わっている事の確かさを感じた出来事もあり、いい知れない感動となりました。

人と出会うことが自分を見つめ、新しい自分を創り出していくことに繋がっていて、出会いこそが辛さを乗り越えたり感動を生み出す源なのだと思えて感じた、依頼活動でした。

学校公演依頼活動で

得たこと

村田さつき

ほとんど初めてと言っている学校公演依頼活動。昨年は運転手役を務めただけですので、学校の現場において先生との間でのように話しが進められ、どのようにして公演が決まってくるのか、経験豊富な先輩座員から得た知識だけを頼りに挑みました。とは言っても何分初心者ですので先輩と二人一組となつての活動です。函館市

内とその近隣の小中学校三十三校を訪ね歩き、様々な個性溢れる先生に出会うことが出来ました。

毎日、初対面の先生に直接お会いし公演の演目紹介のプリントを見てもらいながら、公演内容のこと、民族芸能のこと、教育現場のこと、とにかくいろいろな話をしました。こちらの話すことを受け止めてくれ、公演が決まるといふことがどんなに責任あることか身をもつて知りました。もつともっと民族芸能に対する理解が必要だと痛感しました。

今回の経験を通して、依頼活動に携わってきた一人一人がどのような思いでこの仕事に取り組んできたのか、想像力ではなく実体験として分かったことは自分の力となり、また、座の仲間に対する信頼と連帯の気持ち根深くなりました。さらに、一つ一つの公演を大切に演じる、この意識が高まりました。そして、今年一年を元気に公演活動する活力を買ったような気がしています。

二〇〇四年度

公演・講座活動

【公演】

(5月15日現在)

《学校公演》

6月18日	函館市青柳小学校
21日	七飯町藤城小学校
26日	美幌町全町小学校
28日	歌登町全町小・中学校
29日	沼田町(巡回)
7月1日	東藻琴村(巡回)
7日	島牧村(巡回)
20日	函館市旭岡小学校
21日	函館市駒場小学校
22日	函館市北星小学校
23日	厚岸町真竜小学校
24日	厚岸町(巡回)
26日	追分町(巡回)
26日	函館市中央小学校
31日	中富良野町(巡回)
9月1日	千歳市向陽台小学校
2日	北広島市高台小学校
3日	札幌市手稲東小学校
6日	千歳市千歳小学校
7日	音別町(巡回)
8日	浜中町(巡回)
14日	札幌市八軒小学校
17日	札幌市藻岩小学校
21日	札幌市栄西小学校
22日	札幌市光陽小学校
24日	札幌市本町小学校
30日	札幌市本通小学校
4日	北竜町(巡回)
5日	深川市全市中学校
6日	雨竜町(巡回)

29日	東神楽町全町中学校
11月30日	横濱市旭小学校
12月1日	横濱市上川井小学校
2日	横濱市中沢小学校
3日	横濱市野庭小学校

《保育園・幼稚園公演》

7月12日	札幌市すみかわみなみ幼稚園
13日	札幌市琴似あやめ保育園
14日	札幌市丘珠ひばり保育園
15日	札幌市西岡高台保育園
16日	札幌市円山北町保育園
17日	函館市根崎保育園・夏祭り
10月21日	芽室町芽室幼稚園
1月18日	函館市青い鳥保育園
1月24日	札幌市しんえい幼稚園
2月14日	札幌市みのり保育所
15日	札幌市西琴寒保育園

【講座・講習】

6月2日	真狩村小学校体験講座
7月13・15日	札幌市西岡高台保育園 太鼓講習
8月27・28日	松山文化活動講座
《札幌講座》	
7月3・4日	太鼓(初級・定員18名)
	会場 札幌市・あゆみ幼稚園 定員になったため募集締め切り
	笛(初級・定員8名)
《函館講座》	
7月24・25日	太鼓(初級・定員12名)
	会場 二こぶし座会館 笛(初級・定員6名)

退任にあたって

前理事長 國田修司

このたびの社員総会で二期四年間務めた理事長の役を退任させていただきました。

私は一九六五年の創立時から座の代表としており、二〇〇〇年にNPO法人移行にもない理事長ということで、つこう三十九年間、座の責任者としての任を担ってまいりました。適任であったかどうか

かは別に、成り行きから見れば当然というか否心無しにとしか言いようのないものでしたから、座員にも支援者の皆さんにも、随分迷惑を

かけ続けながらも、叱咤激励を受けてどうやらこれまでやってこれました。

しかし、いつまでも私が代表者であり続けるということ、集団にとつてもけつして良くないことで、昨年から少しずつ「世代交代」を図ってきました。

ですから、代表者を解任されるということは、座の仲間

達が「あとは自分たちがカンバルよ」という決意を示してくれたこととして、私にとつてはこんな嬉しいことはありませぬし、安心してあとを託す思いです。

理事長を退任したとは言

え、私がやらなければならぬ仕事はまだたくさんあります。座員として今年度も励んでいきますので、これまで同様に「ご支援くださるようお願い申し上げます」を申し上げます。

理事長就任のあいさつ

横井正人

この度、新理事長という重責を担うことになり、総会以後身の引き締まる思いで座活動をしております。

私は二十一歳の時、当時の函館音楽鑑賞協会のサークル活動でこぶし座を知り、伝統

を受け継いだ作品をひろめ、道内の多くの人達と共感をつくりだしている活動にひかれ入座しました。座員になって二十八年ですので、座の歴史の約四分の三を座員として歩んできたことになりました。こんなに長く活動してこられたのも多くの方々の支えと励ましがあつたからだと思っております。

座は今、新しい体制になって一人一人が新たな課題に向かっています。これから座が作ってきた歴史を受け継ぎ、皆さんと共に歩んでまいりたいと思っております。

今年、もつと規模を大きくし参加者も増やそうと、一月から実行委員会を持ち、取り組みを始めてきました。企画はホールでの「講演と文化行事」、ギャラリーでの「作品展示」、さらに集会后の「ピースウォーク」の三つの行事から成り、それぞれの担当部会で準備をすすめてきました。

このあと、再び文化行事となり、平和の願いを歌い続け、四十一年の、函館トロイカ合唱団の合唱で「日本国憲法第九条」など三曲を。続いて北海道教育大学函館校モダンダンスクラブにより「般若 雪よ、この怒り溶かしたもう」など三つの作品が上演されました。

この日各地で憲法集会がありました。この日各地で憲法集会がありました。この日各地で憲法集会がありました。

(國田修司・記)

世界に届け 憲法第九条のこころ

何ですか？あなたがイラクへ送りたいものは

第18回「ケンポーってなんだ？」市民集會に四百人参加

「講演と文化行事のつどい」にこぶし座も歌舞劇「南北の塔」を上演

毎年五月三日の憲法記念日に函館で開催される「ケンポーってなんだ？」市民集會が、今年はいラク情勢が緊迫の度合いを強めるなか、「何ですか？あなたがイラクへ送りたいものは」を呼びかけテーマに開かれ、市民四百二十人が会場

の函館芸術ホールに足を運びました。

ホールでの「講演と文化行事のつどい」では、民族歌舞団こぶし座の歌舞劇「南北の塔」上演につづいて、札幌学院大学の坪井主税教授が、「イラク人道支援」は非軍事スタ

ツフで」と題して講演しました。

坪井教授はこの中で、今必要なのは大多数のイラク人に希望を与えること。そのため

には六月末までにイラク人が納得する主権委譲を実現することであり、その前提として

国連が治安・人道・復興支援の主役になるという国連決議

をすることである、と強調しました。

集会后のピースウォークは、雨も降っていたので予定のコースを短縮し、芸術ホールから五稜郭電停前までを

五〇人ほどの人が、それぞれプラカードを持ちつたりゼッケンをつけたりして、街行く人々に訴えながら歩きました。

この日各地で憲法集会がありました。この日各地で憲法集会がありました。

この日各地で憲法集会がありました。この日各地で憲法集会がありました。

こぶし座後援会総会開かれる

現在会員数七百十名！

四月二十五日、こぶし座会館において「二〇〇四年度後援会総会」が開かれました。参加者は二十五名。

昨年度の活動のまとめや会員の動態、収支決算などの報告、続いて今年度の予算、活動計画についての提案がありました。

会員の動態報告では、事務局の橋本が「厳しい世情を反映して退会、減口が増えている」という切実な現状が報告されると、参加者から「友人に入会を訴えたら、実は公演を観た後入るのかと思っていたが機会を失っていた」と言っていた。また「経験が話されたり、さっそく会費の口数を増やします」と言う人も現れ、まず身近なところ



(田畑雄生2歳。ぼくも後援会員です。おとうさんを応援しています！)

後援会・音鑑応援団主催 こぶし座応援 **バザー**

とき：2004年8月29日(日)
午前11時～午後2時

ところ：函館音楽文化センター
(はこだて音鑑)
函館市高盛町22-7
0138-32-1773

物品提供のご協力
よろしくお願いします。

7月31日 けいこ場でみようこぶし座
8月29日 応援バザー
9月頃 厚沢部レクの森ハイキング

《二〇〇四年度の計画》

炭火を囲みジンギスカンを食べながら、「杵振り舞・太鼓・八段錦」にも挑戦し楽しいひとときをすごしました。



(青空の下、八段錦に挑戦)

>> 君の夢かなえに来ないか？ >>

座員大募集

演技部員 スタッフ 制作部員

※18歳以上の心身ともに健康な男女
— 経験は問いません —

※研修期間は1年間
(生活上の援助制度があります)

日本の踊り・太鼓・祭りの大好きな人
北海道が好きで
のびのび仕事をしたい人
仲間と共同して生きがいを求めたい人

NPOは
君を求めている！

第18回 日本の踊り・太鼓講座シリーズ

太鼓・笛講座 04

太鼓講座(初級) 太鼓の基本～ぶち合わせ太鼓

定員 12名
日時 7月24日(土) 18.00-21.30
25日(日) 9.00-17.00

笛講座(初級) 笛の基本～「さくら」まで

定員 6名
日時 7月24日(土) 18.00-21.00
25日(日) 10.00-17.00

八本調子の唄笛を使います

会場 陣川町 こぶし座会館

受講料 大人 5,000円
中高生 3,000円

笛をお持ちでない方はお申し込み下さい
(プラスチック製で2,000円程度です)

定員になり次第締め切りますので早めに電話などでお申し込みください。

【編集後記】

雨上がりの林の中から、ウホケキョ・スピスピツイツイと、うぐいすやピンズイなど賑やかな小鳥のさえずりが聞こえて来ます。恋人探しか巢作りの準備か、何やら楽しそうなさえずりです。

さて、総会が終わる二〇〇四年度新しい体制での活動がスタートしました。制作部は公演依頼活動に、公演部は集中稽古や取材活動に、本部では機関紙発行にと忙しい日々が続いています。

日が経つにつれ創立当時から代表を務めてきたクニさんが、理事長をおりた事の大きさと重みを実感しています。世代交代については少しずつ準備してきましたが、ひとつひとつ経験を積み重ね、集団としての力量を高めていくことが求められています。

それにしても世の中、頭に

年金改悪法案が強行採決され衆議院を通過したことに怒っている、今度は決まったとばかりに未納期間があった国会議員が次々に出てくる。怒り心頭！いつたいこの国の政治はどうなっているのか。国民不在の政治に呆れていないで怒りを持って抗議するしかないようです。